

岩手県立大学ウェブサイトリニューアル業務 に係る提案仕様書

目次

1.	提案依頼にあたって.....	3
1.1.	本件の目的.....	3
2.	岩手県立大学ウェブサイトリニューアルの概要.....	3
2.1.	概要.....	3
2.2.	スケジュールの目安.....	3
2.3.	契約期間.....	3
2.4.	費用.....	3
2.5.	納品物.....	3
3.	システム環境.....	4
3.1.	クライアント PC 環境.....	4
4.	CMS の機能要件.....	4
4.1.	構造管理機能.....	4
4.2.	コンテンツ入力機能.....	4
4.3.	テンプレート機能.....	5
4.4.	新着情報更新.....	5
4.5.	ユーザー権限.....	5
4.6.	承認フロー管理機能.....	5
4.7.	自動配信機能.....	5
4.8.	セキュリティ機能.....	6
4.9.	その他機能.....	6
4.10.	システムの運用・保守.....	6
4.11.	保守・サポート要件.....	6
4.12.	導入実績.....	7

1. 提案依頼にあたって

1.1. 本件の目的

岩手県立大学では、ウェブサイトによる情報発信が、業務内容を広くサイト訪問者に伝え、また、サイト訪問者にとって魅力ある情報を、分かりやすくいつでも入手できる手段となることを目指す。

この方針に従い、職員によるコンテンツの作成・更新の容易性を高め、情報提供機能の充実を高めることにより、サイト訪問者にわかりやすく使いやすいウェブサイトに再構築することを目的とする。

また、その実現のため学外にウェブサーバを用意のうえ、コンテンツマネジメントシステム（以下、CMSという）の導入を行うものとする。

2. 岩手県立大学ウェブサイトリニューアルの概要

2.1. 概要

岩手県立大学ウェブサイトリニューアルを実施し学外ウェブサーバにCMSの導入を行う。

- ・岩手県立大学としてあるべきウェブサイトについての提案
- ・トップページおよびテンプレートの作成
- ・学外ウェブサーバの用意
- ・CMSの導入
- ・ドキュメント・マニュアルの整備
- ・CMS利用者への教育

2.2. スケジュールの目安

時期	委託者	受託者
12月中旬	業者決定、契約	
12月中旬～1月		構築作業（随時）
2月	データ移行作業	
3月	学内公開	説明会（2回程度）
4月1日	学外公開	↓

2.3. 契約期間

契約締結の日～平成26年3月31日

2.4. 費用

8,498,000円以内

※ただし、平成22年度分の支払額にあつては契約額の40%を目安に委託者と受託者が協議して決定するものとする。

2.5. 納品物

- ・ワイヤーフレーム
- ・入力フィールド情報
- ・サイト作成ガイドライン
- ・サイト共通部品定義書
- ・コンテンツ構造設計書
- ・テンプレートレイアウト

- ・コンテンツリスト設計書
- ・ソフトウェア導入報告書
- ・サイト構造設計書
- ・コンテンツ入力・変更ガイド
- ・コンテンツ・マッピング書
- ・検証報告書

3. システム環境

3.1. クライアント PC 環境

- ・OS Windows Vista
Windows 7
- ・ブラウザ Internet Explorer 8.0 以降
Mozilla Firefox 3.0 以降

4. CMS の機能要件

4.1. 構造管理機能

- ・ウェブサイトのディレクトリを作成・変更・削除することが可能であること。
- ・サイト構造をコピーして展開できること。
- ・グローバルメニュー、ローカルメニューの項目をCMSから管理できること。
- ・文書要素と画像・レイアウト等のデザイン要素を別々に管理することが可能であること。
- ・編集範囲の制限を設定可能であること。
- ・ウェブサイトのディレクトリ構造とコンテンツを管理するコンテンツ構造を分離して閲覧、管理することが可能であること。

4.2. コンテンツ入力機能

- ・ワープロソフトの編集程度の技術レベルでコンテンツの追加及び編集が可能であること。
- ・Microsoft Officeで管理しているデータや表は、コピー&ペーストで取り込み可能であること。
- ・ファイルを添付可能であること。
- ・ブラウザで表示されているテキスト情報や写真等は、コピー&ペーストで取り込み可能であること。
- ・取り込んだテキスト、表、図等は自由に加工が可能であること。
- ・ページデザインをブラウジングしながら編集することが可能であること。
- ・コンテンツ作成時にHTMLソースを直接記述することができること。
- ・テキストを入力するだけでデザインを含むホームページの作成が可能であること。
- ・ページ内で使用する画像は10枚程度とすること。
- ・画像を使用する際にALTを必須入力にすることが可能であること。
- ・Flashなどの外部ファイルを登録することが可能であること
- ・ページ内に複数の表を掲載することが可能であること。
- ・配信前にプレビューにより確認することが可能であること。

4.3. テンプレート機能

- ・高品質なテンプレートを容易に開発可能(HTMLタグベースのテンプレート開発)であること。
- ・ページを作成する際に、自動的にサイトマップへ反映させる機能を有すること。
- ・ページを作成した際にパンくずリストを作成する機能を有すること。
- ・カテゴリを作成した際にグローバルナビゲーションもしくはローカルナビゲーションに反映可能であること。
- ・コンテンツを追加した際に、関連するページも自動的に反映することが可能であること。
- ・トップページの最新情報を自動的もしくは任意に作成が可能であること。
- ・テンプレートの登録数に制限をもたないこと。
- ・すでに製作・公開しているページをテンプレート化できること。
- ・フレームなしのページを作成可能であること。
- ・コンテンツに付加情報を持たせ、付加情報で並び替えや絞込みを行うことが可能であること。・アクセシビリティ対応可能であること。
- ・RSSの出力が可能であること。

4.4. 新着情報更新

- ・特定のコンテンツを作成・編集した際に、その内容を別ページの新着情報・トピックス欄に自動的に表示させる機能を有すること。
- ・新着情報・トピックスへの掲載はそれぞれ掲載期間を設定することが可能であること。
- ・新着情報・トピックスへの自動掲載時にタイトルと共に「ジャンル」「日付」などの付加的な情報を表示されるよう設定することが可能であること。また、「日付」は任意で指定が可能であること。
- ・新着情報・トピックスへの自動掲載時に、自動的にリンクを設定できること。
- ・新着情報・トピックスへ掲載する場合、任意の期間にその情報が新着情報であることを示すためのマークを表示することが可能であること。
- ・新着情報・トピックスへ掲載する場合、任意の件数だけを表示させる機能を有すること。

4.5. ユーザー権限

- ・ユーザーの作業権限をいくつかの階層・レベルに分ける機能を有すること。
- ・ユーザー別に細かく権限を設定することが可能であること。
- ・複数のユーザーごとにグループとして管理ができること。
- ・ユーザーの更新履歴、承認履歴を管理することができること。
- ・グループごとに作業権限・レベルを設定することが可能であること。

4.6. 承認フロー管理機能

- ・承認なし～3段階承認まで承認フローを設定することが可能であること。
- ・承認依頼時に自動的にメールを送信させる機能を有すること。
- ・承認者が承認する際にコメントを付記する機能を有すること。
- ・最終承認者が承認を行った際に自動的にメールを送信する機能を有すること。

4.7. 自動配信機能

- ・携帯サイトに対応したページを自動生成する機能を有すること。
- ・印刷用ページを自動的に生成する機能を有すること。

- ・RSSファイルを作成する機能を有すること。
- ・作成・編集したコンテンツの公開期間を「年・月・日・時・分」のレベルで設定することが可能であること。
- ・コンテンツ単位で配信の可否が設定できること。
- ・静的なHTMLを配信することができること。
- ・スケジュールで指定した時間に配信することができること。・配信されるファイルの名前を指定することができること。
- ・配信のログ（いつ、誰が、結果）を管理していること。

4.8. セキュリティ機能

- ・ログイン時にIDとパスワードにより個人を認証することができること。
- ・パスワードは暗号化して保管されていること。
- ・IDによる表示制限または機能制限ができること。
- ・CMSサーバへの接続にSSLを利用することができること。
- ・CMSサーバへ接続しているユーザーを把握することができること。
- ・ユーザーの操作履歴を管理していること。

4.9. その他機能

- ・サイト上の外国語対応は、英・中（簡字体、繁体字）・韓を必須とし、他言語が可能な場合はその旨を記載すること。
- ・更新中のコンテンツを他のユーザーが更新出来ないよう排他機能を有すること。

4.10. システムの運用・保守

- ・ホームページのアドレスは「<http://www.iwate-pu.ac.jp/>」とすること。
- ・平成 21 年度の総アクセス数 4,107,000 件を支障なく運用できるシステムとすること。
- ・公開コンテンツ用の容量として 15GB程度確保できるものとすること。
- ・併せて、現在の大学のホームページを移行して運用できる環境を用意すること。この場合の容量は 30GB程度確保できるものとすること。
- ・本業務を遂行するために必要な受託者の提供するシステムの運用は、原則 24 時間利用可能なものとし、コンピューターウイルス等の防御体制が整備された環境で運用されるものとする。また、利用者の識別、認証が行えるセキュリティに配慮されたシステムであり、通信されるデータの暗号化等によるデータ傍受や改ざんを抑制する機能が確保されていること。
- ・本業務を遂行するために必要な受託者の提供するシステムの保守は、本学の業務に支障がないように定期的に行うこと。なお、業務遂行に支障が発生した場合には、迅速に対応する体制を整え、連絡体制等を事前に本学に報告すること。また、連絡体制に変更があった場合には速やかに届け出ること。

4.11. 保守・サポート要件

- ・日本語のマニュアルが提供されていること。
- ・専任スタッフによるサポート体制が整備されていること。
- ・サポート履歴を提出することができること。
- ・製品は定期的にバージョンアップしていること。
- ・運用に支障が出るような障害情報が即座に提供されること。

- ・ 技術的な情報が、定期的に提供されること。

4.12. 導入実績

- ・ 日本国内での販売実績があること。
- ・ 日本国内で大学及び官公庁に導入実績のあるソフトウェアであること。
- ・ 代表的な導入先及び規模を明記すること。